
5 4 9 9 . 食品等輸入届出一覧照会

業務コード	業務名
I F I	食品等輸入届出一覧照会

1. 業務概要

自らが届出を行った食品等輸入届出に係る情報を検索・抽出し、一覧で照会する。
本業務は届出情報がオンラインDB上より削除されるまでの間、行うことができる。
照会種別として以下の指定ができる。

(1) 事項登録一覧（照会種別「A」）

入力された事項登録年月日に事項登録された情報、または、変更事項登録された情報を照会する。

(2) 届出一覧（照会種別「B」）

入力された届出年月日に届出された情報を照会する。

(3) 届出変更一覧（照会種別「C」）

入力された届出変更年月日に届出変更された情報を照会する。

(4) 承認済一覧（照会種別「D」）

承認済みの届出に係る情報を照会する。

(5) 承認前一覧（照会種別「E」）

承認前の届出に係る情報を照会する。

2. 入力者

全利用者（税関、動物検疫所、植物防疫所、厚生局等、輸出証明書等発給機関は除く）

3. 制限事項

1回での照会件数は最大200件とする。

なお、200件を超える場合は、照会情報を再度送信することにより次の200件を照会する。

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

システムに登録されている利用者であること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(B) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(3) DB関連チェック

(A) 利用者

①「利用者DB」に登録されている利用者であること。

②税関、動物検疫所、植物防疫所、厚生局等、輸出証明書等発給機関以外の利用者であること。

(B) 食品等輸入届出DBチェック

指定した条件と一致する届出情報が食品等輸入届出DB上に存在すること。

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

(2) 届出受付番号抽出処理

①届出者が食品等輸入届出事項登録を行った届出受付番号を抽出する。

②照会種別毎に表1のすべての抽出条件に該当する届出受付番号を抽出する。

表1. 届出受付番号抽出条件 (○: 抽出条件項目)

項番	抽出条件	照会種別				
		A	B	C	D	E
1	入力された照会対象年月日とシステムに登録されている事項登録年月日、または変更事項登録年月日が同一である	○				
2	入力された照会対象年月日とシステムに登録されている届出年月日が同一である		○		○*1	○*1
3	入力された照会対象年月日とシステムに登録されている届出変更年月日が同一である			○		
4	システムに届出が承認済として登録されている				○	
5	システムに届出が承認済として登録されていない					○
6	届出変更が行われている場合は、最新の枝番に係る情報である	○	○	○	○	○
7	取止めが行われていない	○	○	○	○	○
8	入力された輸入者符号と、システムに登録されている輸入者符号が同一である	○*2	○*2	○*2	○*2	○*2
9	入力された保管場所と、システムに登録されている保管場所が同一である	○*2	○*2	○*2	○*2	○*2

A: 事項登録一覧

B: 届出一覧

C: 届出変更一覧

D: 承認済一覧

E: 承認前一覧

(*1) 照会対象年月日を指定した場合のみ

(*2) 輸入者符号または保管場所を指定した場合のみ

(3) 届出一覧照会情報編集出力処理

届出受付番号抽出処理により抽出された届出受付番号について、食品等輸入届出DBから食品等輸入届出一覧照会情報の編集及び出力を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
食品等輸入届出一覧照会情報	なし	入力者

7. 特記事項

照会結果は、輸出入者符号の昇順を第一ソート、届出受付番号の降順を第二ソートして出力する。

なお、検索条件に「輸入者符号」を指定した場合は、届出受付番号のみで降順ソートして出力する。